

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1919
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.13, No.11 (1919. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19191101-0151

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

失を蒙らしむることを明にしたるが如き、支那に對して外國資本家が安全に資本を放下するを得る四種の方法を示し、支那鐵道の會計状態の良好なる事實を公にして、外國の投資を誘はんとしたるが如き、何れも議論として一顧の價値あり、プロバガンダ用たるの故を以て、一概に棄つ可きに非ざるなり。(堀江歸一)

法學博士 黎明錄

神田區駿河臺鈴木町十六番地 佐藤出版部發行 定價 參圓九十錢

福田博士は我邦論壇の雄なり、而して本書は大戦の進行につれて發生せし幾多の興味ある問題に對する博士の現實的批判にして、全部四篇に分ち、第一篇は主として英、獨國民經濟に就きて論じ、特に資本的侵略主義の危險を力説し第二篇に於て自主的出兵よりも自主的平和を主張し第三篇に於て戦後世界經濟當面の大問題を

提供し、最後の第四篇は「國本は動かす」と題して新日本の諸問題に對する博士の考察を公にし尙ほ附録として我邦にて刊行する英佛語の雜誌新聞に見れたる博士の論文の紹介、批評、翻譯の中數種を卷末に載せられたり、想ふに博士は本著の序文に於て「元來、一讀書生に過ぎない著者が分を量らず、當面現實の問題に就きて議論すると云ふのは間違つたことであるかも知れない」と告白せられしに不拘然かも本書の重きをなす點は實に情實に阿ねらず因らばはざる讀書子の論議たるにあり、吾人は現代戦役の好個の紀念的思索録として本書を普ねく江湖に薦むるものなり。(阿部秀助)

前號(第十三卷) 目次(大正八年十月號)

論 說

- ◎第一次國際勞働大會の議事々項を論ず 法學博士 堀江 歸一
- ◎英國貴族院の改造(下) 慶應義塾 大學教授 占部百太郎
- ◎藝術と經濟(六、完) 慶應義塾 大學教授 阿部 秀助
- ◎中立船内の敵貨と敵船内の中立貨(五、完) 慶應義塾 大學教授 板倉 卓造
- ◎マーカンチリズム概論 慶應義塾 大學教授 高橋誠一郎
- ◎小賣商習慣と公設市場 根本 清六
- ◎銀行手形引受制度及實行論(下) 三宅嘉十郎
- ◎經濟的史觀論の價値(五) 野村兼太郎
- ◎貸銀制度廢止論(上) 加田 忠臣
- ◎採算の基數 池田 龍藏

雜 錄

編輯主任

大磯王城山雲高 堀江 歸一

一冊定價 參圓七錢 郵税金壹錢五厘
半年定價 金貳圓拾五錢 郵 稅 共
一年定價 金四圓也

編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
營業に關する用件は發賣元宛
原稿締切期日は發行の前月十日限
大正八年十月廿一日印刷納本
大正八年十一月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌 禁 轉 載
東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内
編輯兼發行者 石田 新太郎
東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵五郎
東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷所 金子 活版所

發賣元 株式會社 東京堂書店
東京市神田區表神保町三番地
發售所 東京芝三田 慶應義塾内
電話 田 三〇六二番 三〇六四番
三〇六三番 三〇六五番
三〇六六番 三〇六七番
振替東京 二七〇番
尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 理財學會